

「 移動支援Reraこれまでの10年、これからの10年 」

～ Reraから見る石巻地域の暮らしの足の現状 ～

2021. 10. 22 移動支援Rera

【0】みなさまにお伝えしたいこと

＜1-Reraの活動から見える暮らしの足の現状＞

- ・ 移動支援Reraとは？
- ・ Rera利用者の状況
利用者分布、目的地、回数、利用者現状（介護度）等
- ・ これまでの活動報告

＜2-今後のRera活動についてと、ご協力のお願い＞

- ・ 送迎活動の予定
- ・ 地域支援事業
- ・ 暮らしの足を考えるための関係機関ヒアリング

【1】 Reraの活動から見える暮らしの足の現状

＜移動支援Reraとは？＞

- ◆2011年3月より、札幌市のNPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、（社福）札幌協働福祉会を中心に、復興支援活動開始
- ◆制度に紐づかない登録不要の無償（実費負担）の送迎を行う

被災された方々のフェーズの変化に合わせて活動

避難所
在宅被災

病院
コインランドリー
仮設のお風呂など
（入浴介助付き送迎）

仮設住宅
在宅被災

葬儀場
役場
自宅の片付け
仮設住宅へ引越し

災害公営
住宅

公共交通や地域、家族の送迎に頼ることができない方を対象に、生存権に関わる通院、通所の送迎に対応

【1】 Reraの活動から見える暮らしの足の現状

＜Rera利用者の状況＞

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合計
送迎人数	19,004	22,356	21,252	21,602	20,546	19,520	18,340	16,345	14,509	11,410	184,884
送迎回数	13,391	17,342	16,231	17,267	16,973	16,202	15,266	13,368	11,738	9,712	147,490
スタッフ数	3,154	2,677	2,828	3,154	3,057	2,528	2,146	2,194	2,312	2,316	26,366

- ◆震災直後は地域外から来たボランティアドライバーが多く、また、長時間の送迎を行っていたため送迎回数が多かった。
- ◆2016年を目途に、ボランティアドライバーが減少し、ドライバーの負担が増大。一部雇用スタッフによる送迎を開始、また送迎時間を短縮したため送迎回数が減少。
- ◆車両台数、ドライバー数で可能な限りの送迎をし続けているが、毎月送迎をお断りしている現状が今も引き続けている。
- ◆コロナ禍以降は通院を控える利用者が増加し送迎回数が減少。

【1】 Reraの活動から見える暮らしの足の現状

<Rera利用者の状況（2018年度実績）>

利用者の居住地分布

地区	人数
石巻市中央	17
石巻市稲井	45
石巻市蛇田	49
石巻市山下	42
石巻市渡波	42
石巻市湊	23
石巻市河北	11
石巻市河南	10
石巻市ものう	2
石巻市北上	1
石巻市牡鹿	1
東松島市	20
女川町	17
不明＊	5
総計	285

＊万葉園、病室、コンビニ

【目的地：分類ごとの送迎回数】

分類	送迎回数	(%)	利用料金	(%)
医療機関	6,121	85.08	1,872,500	88.21
商業施設	506	7.03	117,900	5.55
福祉施設	376	5.22	65,500	3.08
公共施設	122	1.69	38,700	1.82
神社仏閣	59	0.82	24,800	1.16
その他	10	0.13	3,300	0.15
総計	7,194		2,122,700	

2020年度上位5機関の送迎回数（％）の推移

医療機関名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
宏人会	24.22	25.40	24.58	24.67
日赤H P	13.59	14.77	12.21	11.05
佐藤整形	3.57	4.57	5.30	5.75
こだまH P	5.06	5.23	5.28	5.17
仙石H P	5.25	4.39	3.66	4.57

- ◆9割以上の利用者が、医療・福祉施設・機関を目的地とし送迎
- ◆その中で透析のための通院の利用割合が約3割
- ◆近距離送迎が多い（遠距離の送迎は運用上受ける余裕がない）
- ◆通院以外の送迎は優先順位が低くなり対応が難しい（受ける余裕がない）

【1】 Reraの活動から見える暮らしの足の現状

＜Rera利用者の状況（2018年度実績）＞

年齢層

	人数
～20代	0
30代	4
40代	5
50代	12
60～64歳	12
65～69歳	6
70～74歳	22
75～79歳	19
80歳以上	64
空白	1
合計	145

介護度等

介護度	介護程	人数
要介護	1	8
	2	15
	3	4
	4	1
要支援	1	10
	2	38
	(空白)	2
なし	(空白)	47
(空白)	(空白)	20
合計		145

歩行の状況(複数回答)

	人数
杖・歩行器・手押し車	76
車いすを使っている	20
目が不自由	34
耳が不自由	16
車の乗り降りに介助	24
歩くと痛みや疲労が	65
特に問題ない	6
その他	5
空白	7
合計	253

世帯構成

	人数
単身世帯(ひとり暮らし)	53
一世代世帯(夫婦のみ)	27
二世代世帯(親と子)	47
三世代世帯(祖父母と親)	6
その他	5
空白	7
合計	145

- ◆制度に紐づかない登録不要の無償の送迎ではあるものの、利用者登録時に身体の介護度や、経済状況、家族状況などをヒアリングし命に係わる優先順位の高い方から送迎を受け付けている
- ◆ドライバーの数や、送迎車両の台数など運用の状況により送迎回数は異なるが、10年間100%以上の稼働で送迎をしているが、申し込みを常にお断りする状況が継続している
- ◆本来NPOとして対応したい余暇活動など、生きがいを生み出す気軽なお出かけはほぼ送迎できていない

【1】 Reraの活動から見える暮らしの足の現状

＜Rera利用者の状況（2019年度Rera利用者アンケート結果より）＞

外出の回数は増えましたか？

	回答数	うち、該当者	うち、非該当者*
増えた	33.1	33.0	33.3
やや増えた	31.7	32.1	30.8
変わらない	26.9	27.4	25.6
やや減った	0.0	0.0	0.0
減った	0.0	0.0	0.0
空白	8.3	7.5	10.3
合計	100	100	100

どのような外出が増えましたか？

対象人数	94	69	25
	回答数	うち、該当者	うち、非該当者*
通院	89.4	88.4	92.0
買い物	34.0	34.8	32.0
友達と会う	5.3	7.2	0.0
その他	3.2	2.9	4.0
空白	52.1	49.3	60.0

Reraを利用するようになっての変化について

	回答数	うち、該当者	うち、非該当者*
体調が良くなった	20.7	21.7	17.9
人に会う回数が増えた	25.5	27.4	20.5
家族関係が良くなった	6.2	5.7	7.7
家計が楽になった	64.1	66.0	59.0
気持ちが明るくなった	31.0	29.2	35.9
友達ができた	5.5	6.6	2.6
変わらない	9.7	8.5	12.8
その他	2.8	2.8	2.6
空白	4.8	4.7	5.1

外出を我慢していない理由は何ですか？

対象人数	37	23	14
	回答数	うち、該当者	うち、非該当者*
送ってくれる家族や知人がいるから	29.7	39.1	14.3
鉄道やバスを利用できるから	5.4	0.0	14.3
タクシーを利用するから	29.7	26.1	35.7
レラ、またはカーシェアリングがあるから	73.0	65.2	85.7
外出をしないようにしているから	10.8	13.0	7.1
元気に歩けるから	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
空白	8.1	8.7	7.1

◆Reraを利用するようになり、体調が良くなった（20.7%）、人に会う機会が増えた（25.5%）、気持ちが明るくなった（31.0%）

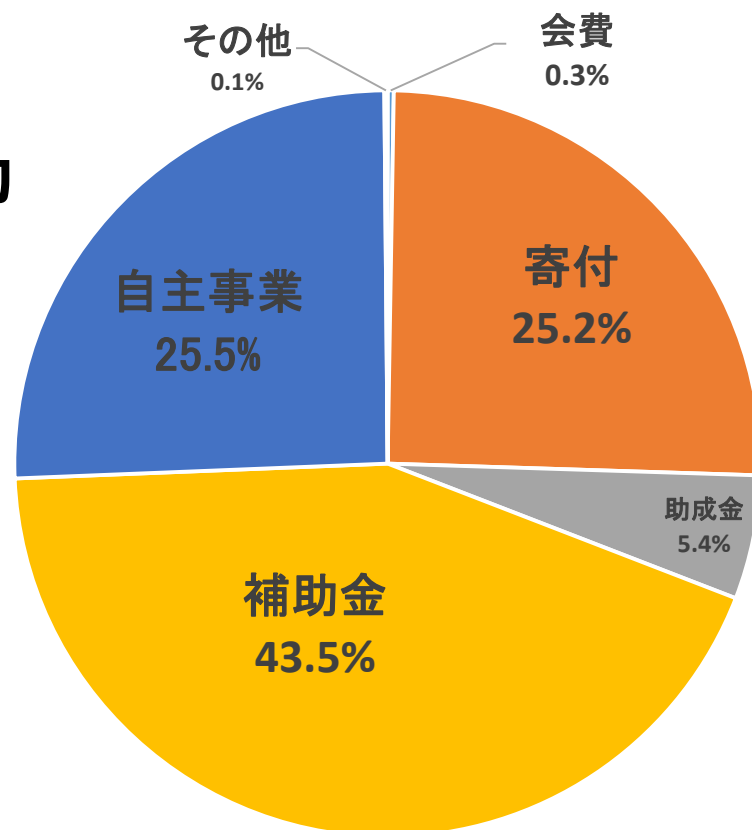
◆Reraが行ってきた送迎は、公共交通や互助では担いきれない移動困難者の健康向上に一定の貢献をしている。

【2】今後のRera活動について

移動支援Rera 2020年度 収入内訳

Rera 現在の主な活動

1. 移動困難者への送迎支援活動
2. 付き添いつきお出かけ送迎
3. ミニ暮らしのお手伝い

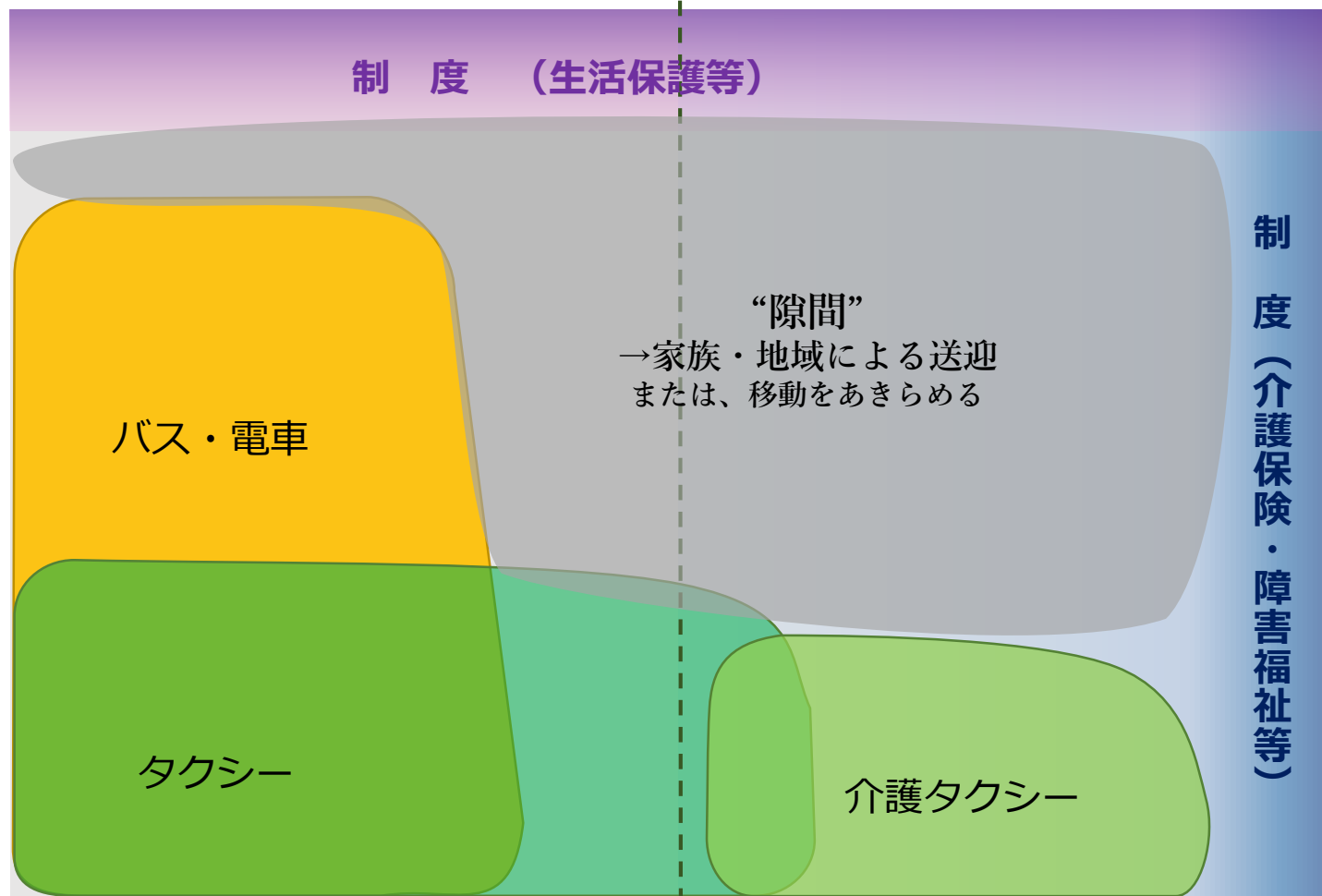


【2】 今後のRera活動について

石巻地域の移動の現状（震災前）



経済の困窮度



心身の困難度

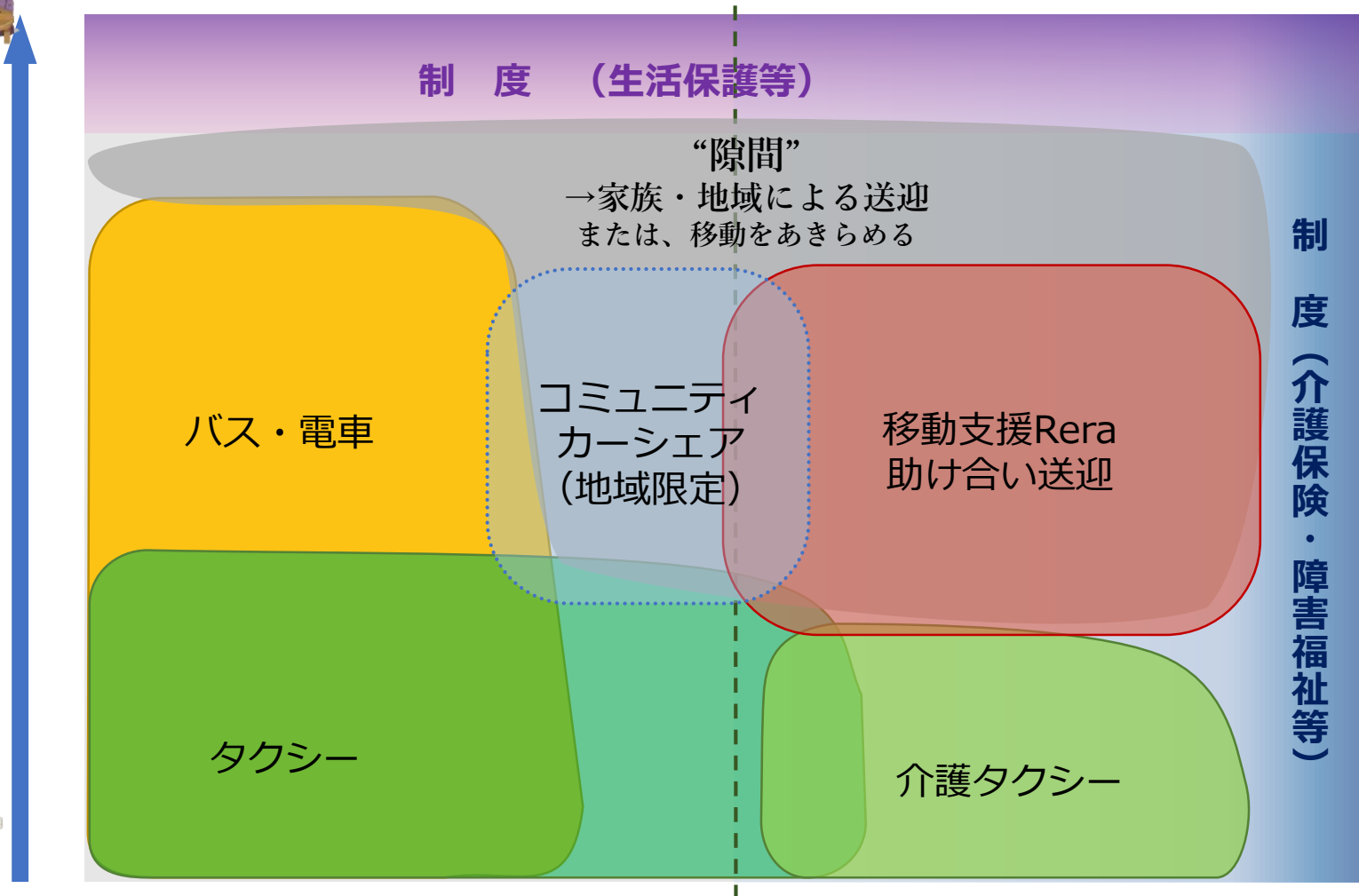


【2】今後のRera活動について



石巻地域の現状（震災後）

経済の困窮度



心身の困難度

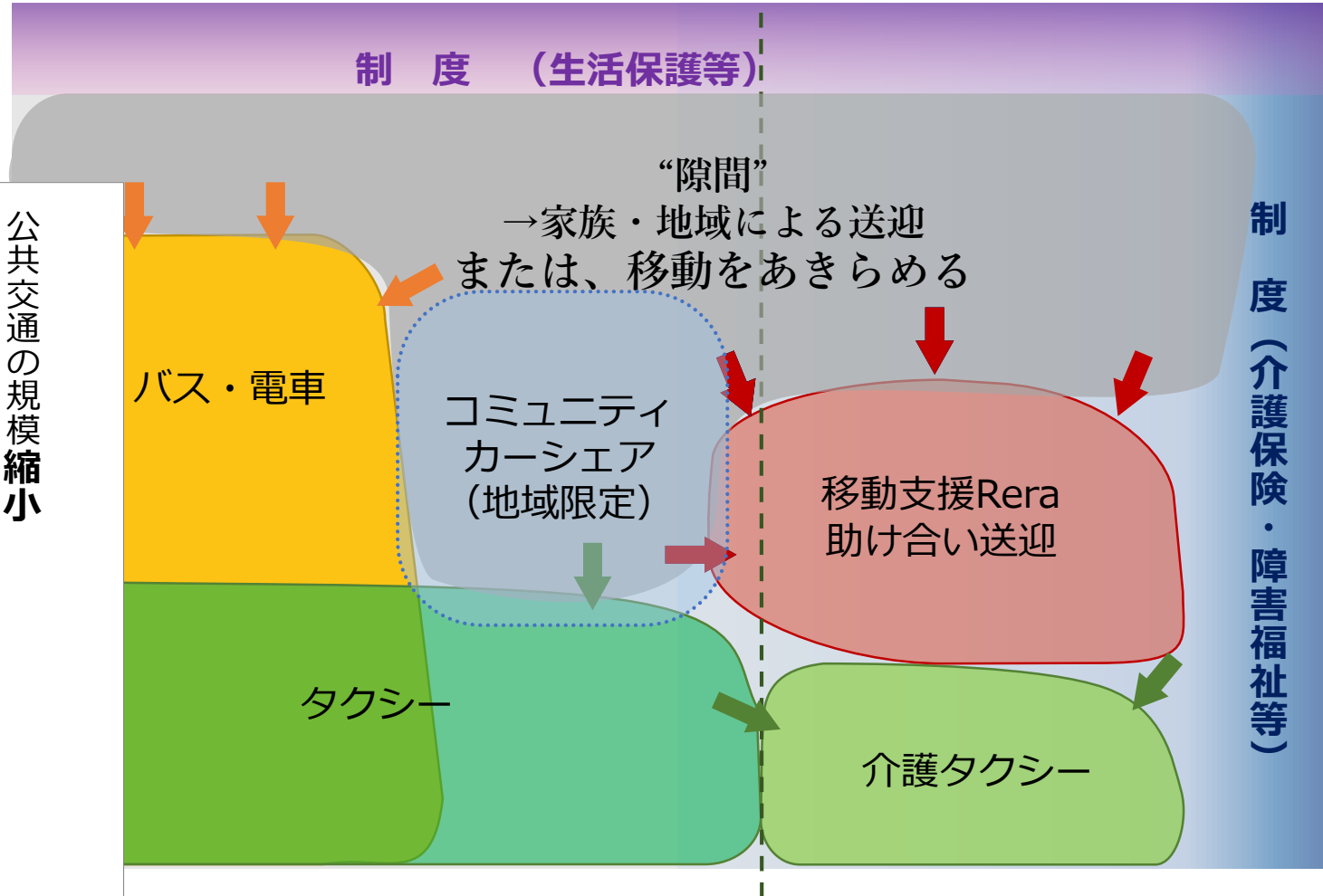


【2】今後のRera活動について

(現在及び今後)



このままでは移動が減る = 社会参画の機会が減る = フレイルの加速



公共交通の規模縮小
地域・家族による送迎の限界
↓“隙間”の拡大(グレーゾーン拡大)



心身の困難度



【2】今後のRera活動について

- ◆2011年3月より、復興支援活動として継続してきたが、官民含む復興財源の減少により復興支援活動は減少していかざるを得ない。
- ◆公共交通、福祉事業、地域内の助け合い送迎など、地域リソースを最大限活用し、利用者が暮らしの足に困らない状況を作り出していきたい。

<これまでの送迎活動以外の活動>

- ◆**移動支援ガイドブックの作成**
公共交通や福祉タクシーなどの利用促進を狙って、利用者目線の移動手段に関する包括的ガイドブック
- ◆**移動支援の始め方ガイドブックの作成**
平時、災害時いずれも活用できる移動支援の実践ガイドブック
移動支援に関わる法律の問題や保険の話などについて記載
- ◆**ドライバーの要請**
石巻圏域での移動の担い手を増やすため、福祉送迎講習を実施
- ◆**暮らしの足を考えるフォーラム**
交通行政、交通事業者、医療福祉機関、住民組織などセクターを超えて暮らしの足について考え、移動困難な方をカバーできる伸びしろを増やす
- ◆**利用者や地域の現状調査**
2019年度に石巻市内数か所で住民向けアンケートを実施
- ◆**その他**
お出かけ送迎、暮らしのお手伝い、農園事業

【2】今後のRera活動について

＜送迎活動の予定＞

◆2022年度9月福祉有償運送開始予定

- ・利用対象者

- ①身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者
- ②介護保険法第19条第1項に規定する要介護認定を受けている者
- ③介護保険法第19条第2項に規定する要支援認定を受けている者
- ④その他肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害、その他の障害（発達障害、学習障害を含む）を有する者

「イロハニホヘト」

イ 身体障害者 □ 精神障害者 ハ 知的障害者 ニ 要介護者
ホ 要支援者 ヘ 基本チェックリスト該当者 ト その他の障害

- ・一時的に登録不要の送迎を停止
福祉有償運送の体制が落ち着いたところで登録不要の送迎を再開予定
- ・福祉有償運送の対象とならない利用者が発生する
- ・女川町、東松島市からの利用者についても送迎できる形を模索

移動手段とReraの活動

公助

電車、バス、タクシー



緑ナンバー
交通事業者

共助（互助）

有償



自家用有償運送

- ・国土交通省への届出
- ・一定の対価を設定

無償



- ・半年で2000円の会費
- ・2kmごとに100円の協力費
- ・8時から16時
- ・石巻市、東松島市、女川町



登録不要の運送

- ・登録、資格不要
- ・ガソリン代等の実費のみ

自助

自家用車、家族送迎



対価なし
(任意の謝礼)

【2】 今後のRera活動について

＜活動の予定（2021年度トヨタモビリティ基金事業）＞

◆暮らしの足を考えるための関係機関ヒアリング

行政、社協、福祉法人、交通事業者や住民組織などを訪問し、
各機関の活動の状況、暮らしの足に関する現状認識についてヒアリング
Reraから見る暮らしの足の現状もお伝えし、石巻圏域の暮らしの足の支え方
について一緒に考える

◆レラの地域支援事業として

- ・暮らしの足の現状と、どんな解決策があるのかについて、関係機関や地域住民向けに勉強会を提案開催し、課題感の共通認識をつくっていく
 - ・勉強会の後、具体的に課題解決の可能性を検討について、これまでの知識や経験、リソースを提供し、地域ごとの暮らしの足を支える仕組みづくりをお手伝い
- ex) 助け合い送迎の相談対応、ドライバー送迎講習、
ドライバー、車両のレンタルなど

【2】 今後のRera活動について

<地域支援事業（2021年度トヨタモビリティ基金事業）>

◆地域支援事業

- ・担当者ヒアリング（ニーズの有無の確認）に基づいて実施

- ・暮らしの足勉強会

目的：地域の中で暮らしの足を支え合える体制・仕組みづくりのサポート

対象：地域住民、地域住民を支える行政担当者、社協職員、民生委員

内容：ニーズに合わせて、複数回の実施が可能

ex) 第1回「暮らしの足の現状」勉強会

現状の報告（地域にどんなニーズがあるのか）

法制度、実践例の紹介（どんな解決手段が取りうるのか）

参加者による意見交換

第2回「暮らしの足を支える実践」勉強会①

移動の担い手の方々と、地域の応じた支援体制について

法令や、保険、ドライバーの育成なども踏まえて一緒に検討

第3回「暮らしの足を支える実践」勉強会②

暮らしの足を支える実践勉強会のフォローアップ

Reraドライバーによる送迎実演など

その他：講師に関して、Reraスタッフ以外に公共交通やまちづくり、福祉の専門家による講話も検討可能

勉強会の他、ドライバー送迎講習、ドライバー、Rera車両のレンタルなども今年度であれば検討可